

2013(平成25)年9月 実施

第42回 足立区政に関する世論調査 《概要版》

足立区では、昭和47年から区民の方を対象とした世論調査を実施しており、今回は第42回となります。世論調査の実施にあたっては、多くの区民の皆様にご協力いただき心からお礼を申し上げます。調査結果は、区政運営のための基礎資料として今後の施策に活用してまいります。なお、「第42回足立区政に関する世論調査」の全容をお知りになりたい方は、区のホームページ、区内の各図書館及び区役所区政資料室でご覧いただけます。

今回の調査では、区の取り組みについて、現状評価が低く、重要度の高い分野として、「防災対策」「治安対策」「交通対策」があげられています。

また、新たに「孤立ゼロプロジェクト」、「ユニバーサルデザイン」の認知状況などについて、調査を行いました。

継続テーマに対する回答では、「足立区に愛着をもっている」人が前回に引き続き7割を超え、「足立区に誇りをもっている」人が4割台半ばに達しました。また、「足立区を人に勧めたい」人は初めて4割を超えました。

- 定住性
- 大震災などの災害への備え
- 区の情報発信のあり方
- 健康
- ビューティフル・ウィンドウズ運動
- 環境・地域活動
- 「孤立ゼロプロジェクト」など
- ユニバーサルデザイン
- 区の取り組み

調査の概要

- ◇対象者…… 20歳以上の区民
- ◇対象者の抽出…… 単純無作為抽出法
- ◇対象者数…… 3,000人
- ◇調査方法…… 郵送配布郵送回収法
- ◇回収数(率)…… 1,962人 (65.4%)
- ◇調査時期…… 2013(平成25)年9月



2014(平成26)年3月

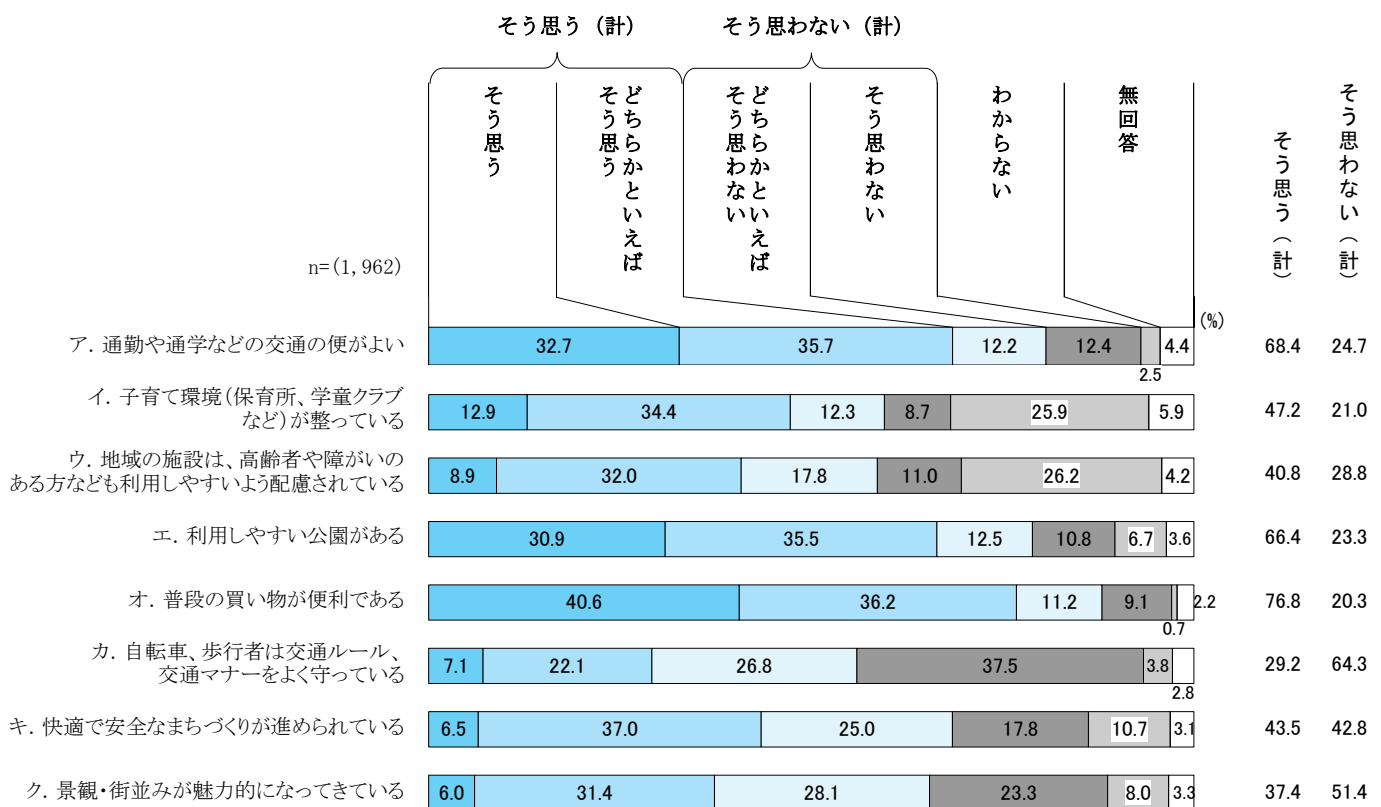
足立区

定 住 性

住んでいる地域について感じていることを、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【そう思う】の高い順でみると、〈普段の買い物が便利である〉が76.8%で最も高く、以下〈通勤や通学などの交通の便がよい〉68.4%、〈利用しやすい公園がある〉66.4%の順となっています。

お住まいの地域についての感じ方

- ・【普段の買い物が便利である】と感じている人が7割台半ば



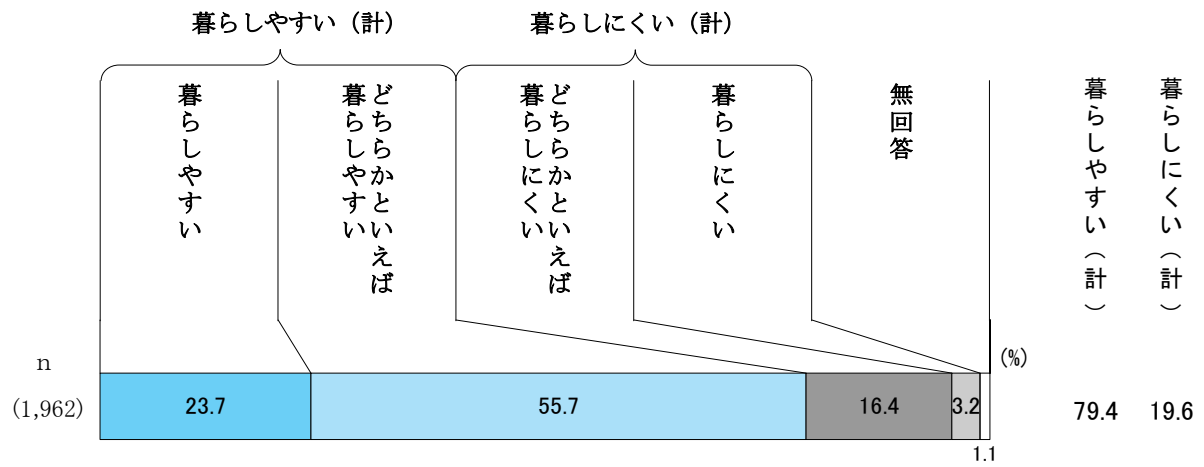
参考1： 百分比(%)と百分比(%)を合わせる場合、本来の実数値を合わせて算出した百分比を記しているため、その百分比は紙面上の百分比の合計と合わない場合があります。

2： 図中にあるnは回答者総数のことです。

3： 表題に(複数回答)と表記されている場合は、回答数に制限がないことを意味しています。

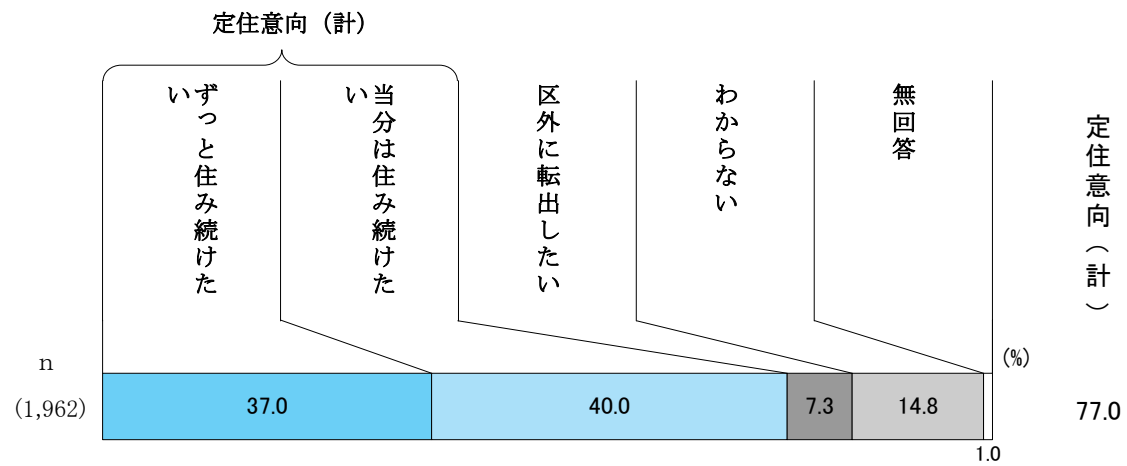
地域の暮らしやすさ

- ・【暮らしやすい】は、約8割を維持しているものの除々に低下しています。



定住意向

- ・【定住意向】をもっている人は7割台半ば

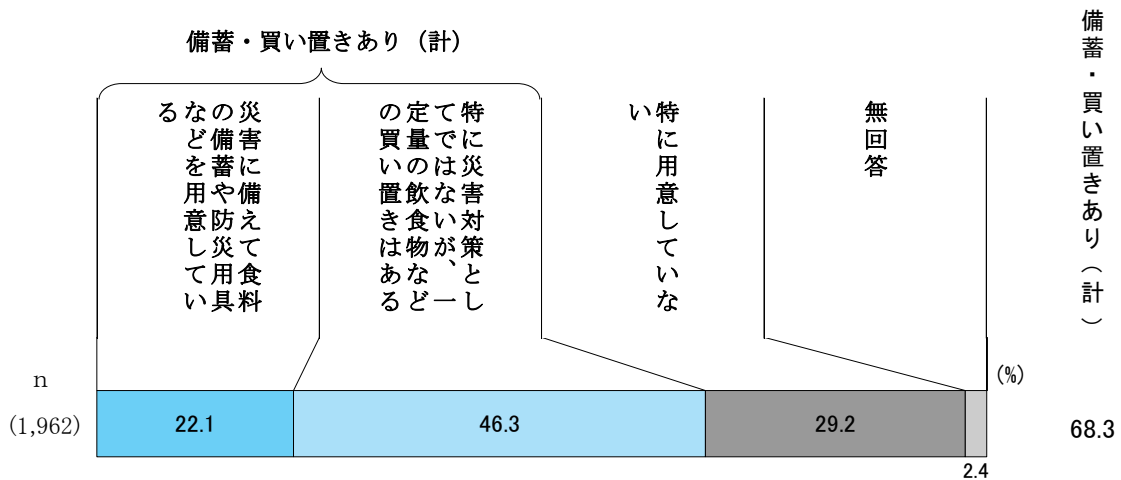


大震災などの災害への備え

災害に備えての準備状況については、「災害に備えて食料の備蓄や防災用具などを用意している」が22.1%、「特に災害対策としてではないが、一定量の飲食物などの買い置きはある」が46.3%で、両者を合わせて【備蓄・買い置きあり】は68.3%となっています。一方、「特に用意していない」は29.2%となっています。【備蓄・買い置きあり】という人に、その内容を聞いたところ、「水」が92.1%で最も高く、以下「食料」(89.0%)、「あかり」(82.0%)の順となっています。

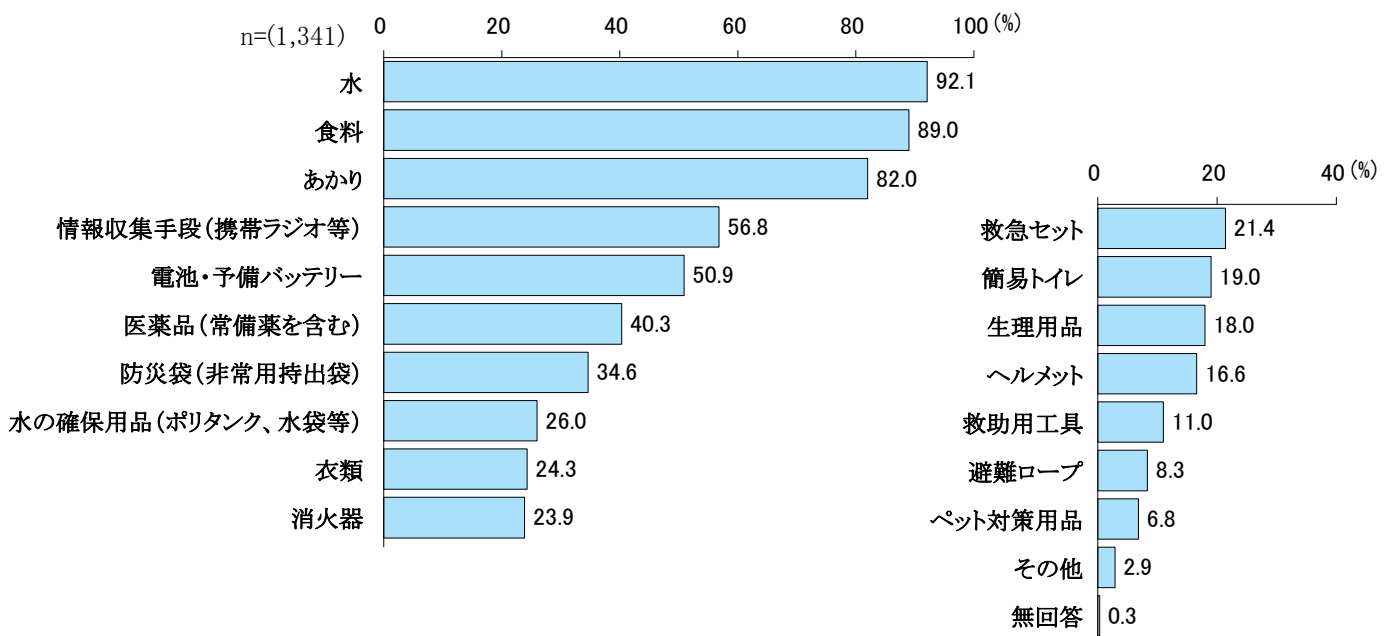
備蓄や防災用具などの用意

- ・家庭備蓄をしていない方が増加しています。



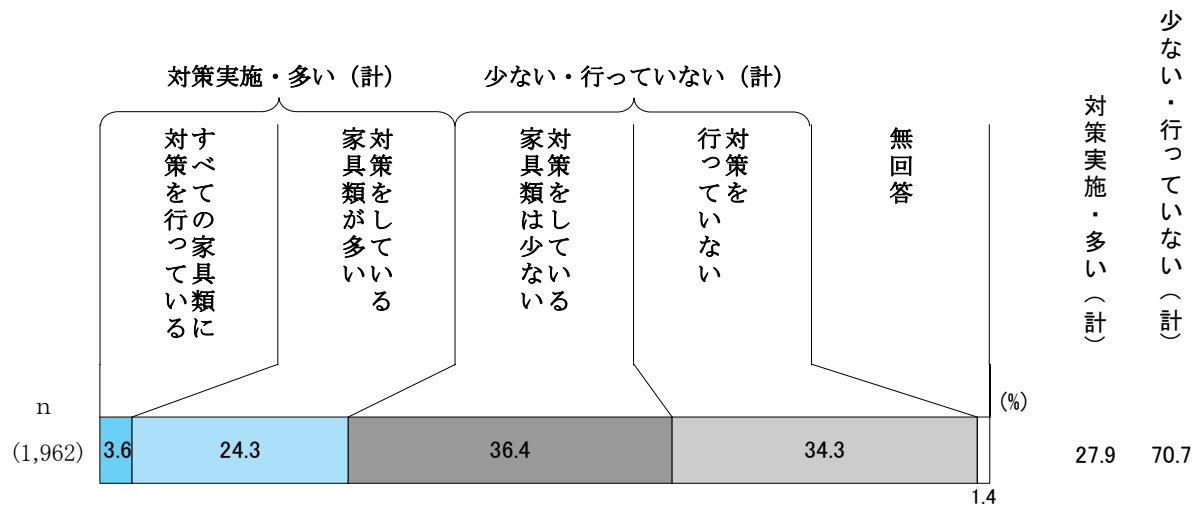
備蓄や防災用具、買い置きなどの内容 (複数回答)

- ・「水」と「食料」が9割前後



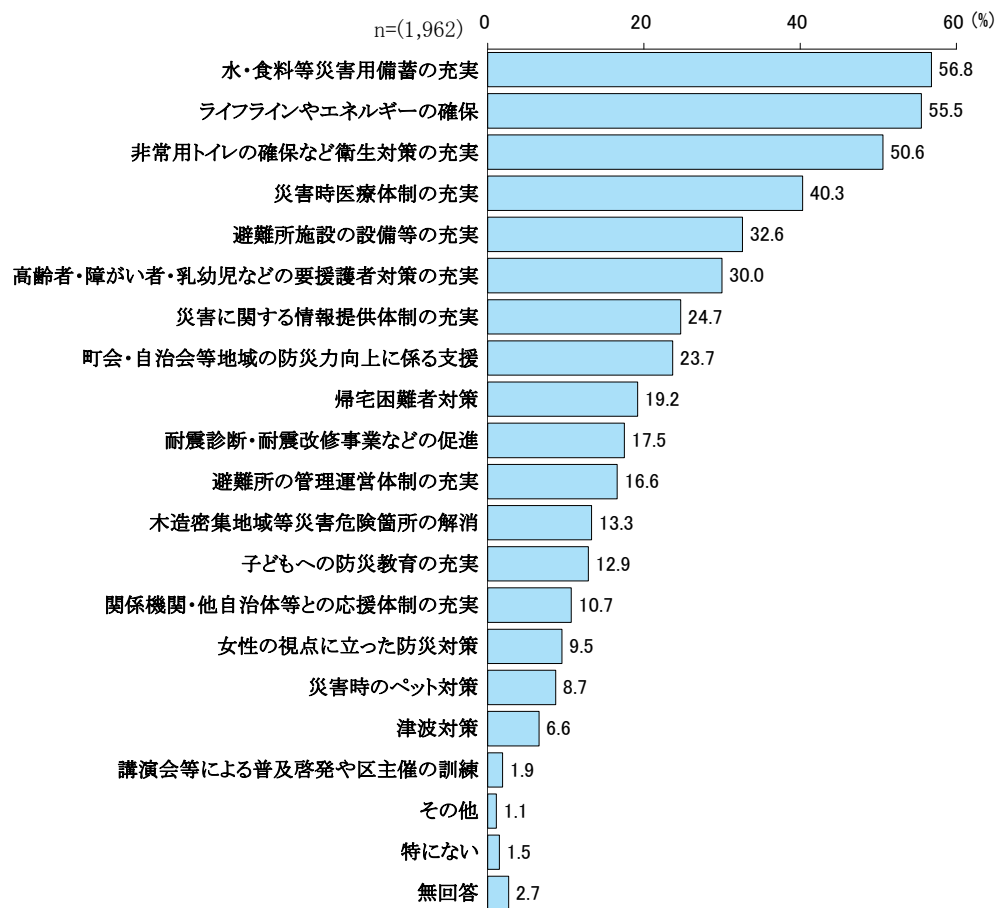
家具類の転倒・落下・移動防止対策

・対策をしている方が約3割、対策をしていない方が約7割



大地震の際の防災対策として区に力を入れてほしいこと (〇は5つまで)

・“災害備蓄の充実” “ライフライン・エネルギーの確保” “衛生対策の充実” が5割台で上位

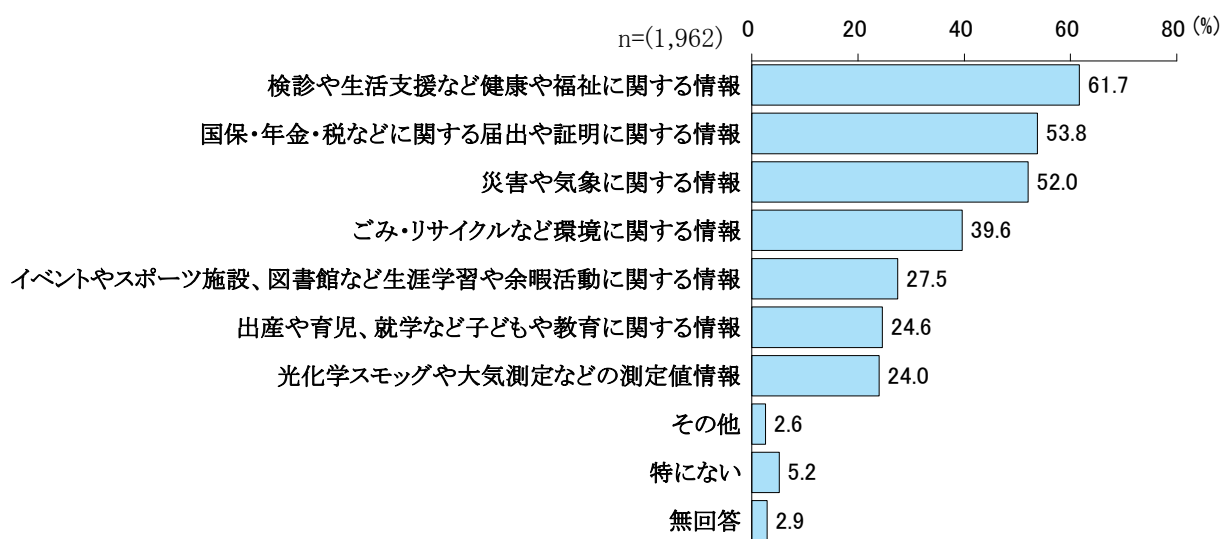


区の情報発信のあり方

必要とする区の情報としては、「検診や生活支援など健康や福祉に関する情報」が61.7%で最も高く、以下「国保・年金・税などに関する届出や証明に関する情報」(53.8%)、「災害や気象に関する情報」(52.0%)の順で続いています。

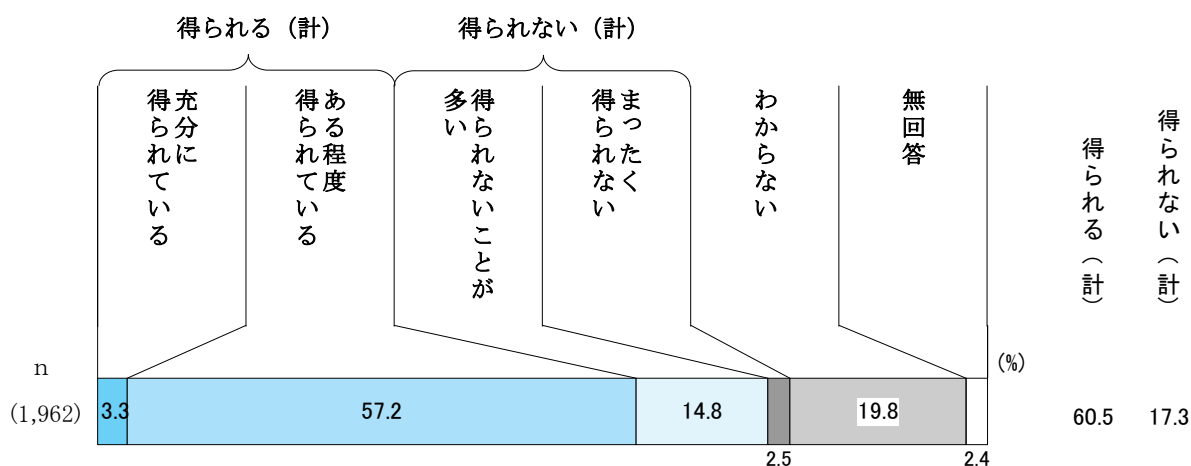
区が発信する必要がある情報（複数回答）

- ・「検診や生活支援など健康や福祉に関する情報」が6割を超えています。



必要な時に必要とする区の情報入手状況

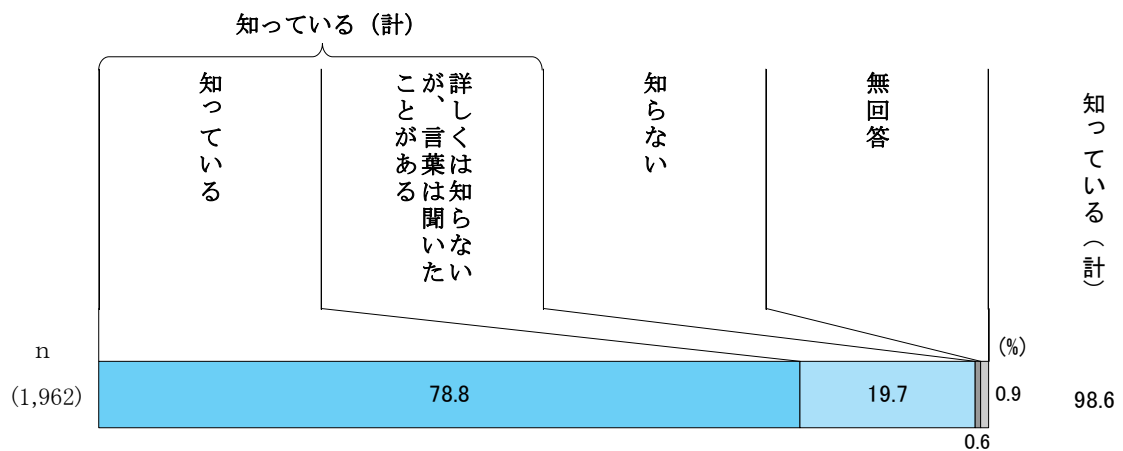
- ・必要な時に【得られる】が6割



糖尿病を「知っている」が78.8%で、これに「詳しくは知らないが、言葉は聞いたことがある」の19.7%を合わせた【知っている】は98.6%となっています。

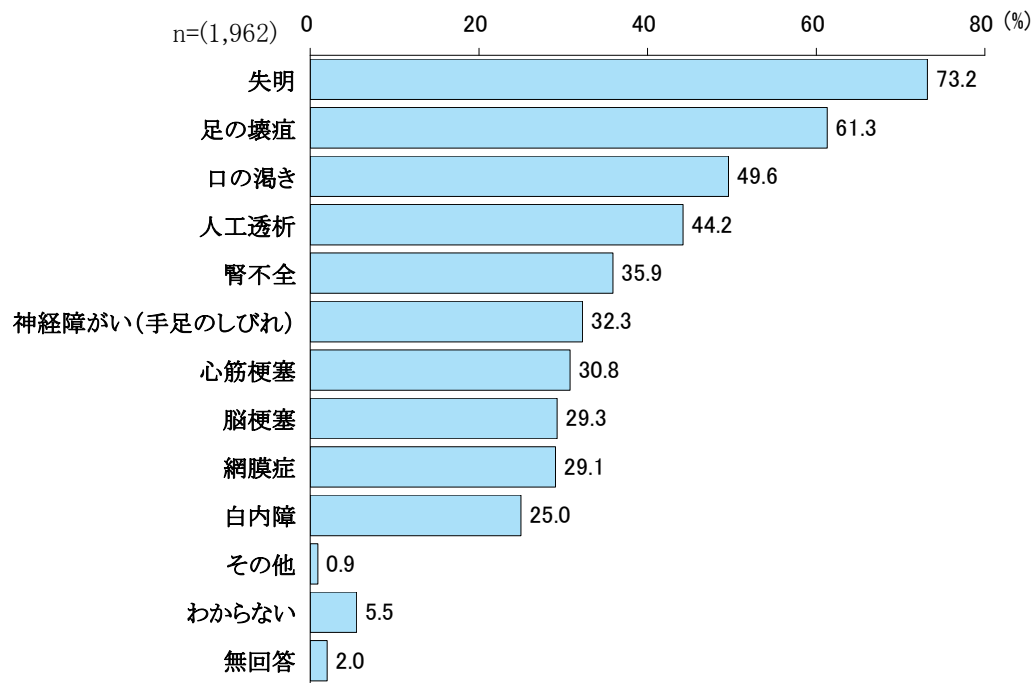
糖尿病の認知状況

- ・ ほぼ全員の方が糖尿病を認知しています。



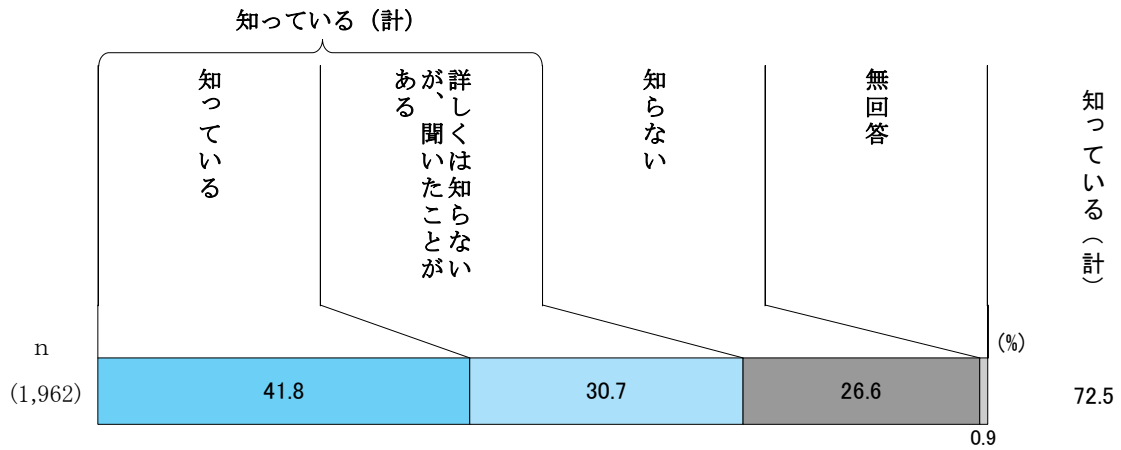
糖尿病の進行による病気や障がいの認識 (複数回答)

- ・ 「失明」が7割、「足の壊疽」が6割を超えています。



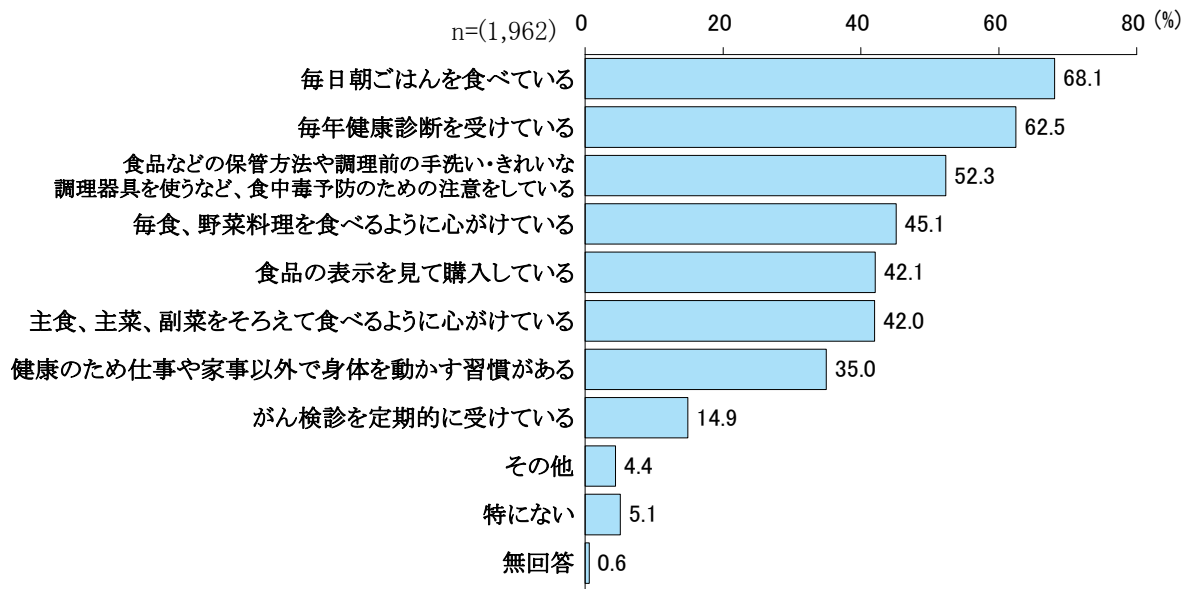
食事の際に野菜から食べ始めることが、糖尿病予防に効果があることの認知

- ・【知っている】が7割を超えています。



健康維持のために実行している、心がけているもの (複数回答)

- ・「毎日朝ごはんを食べている」「毎年健康診断を受けている」が6割台

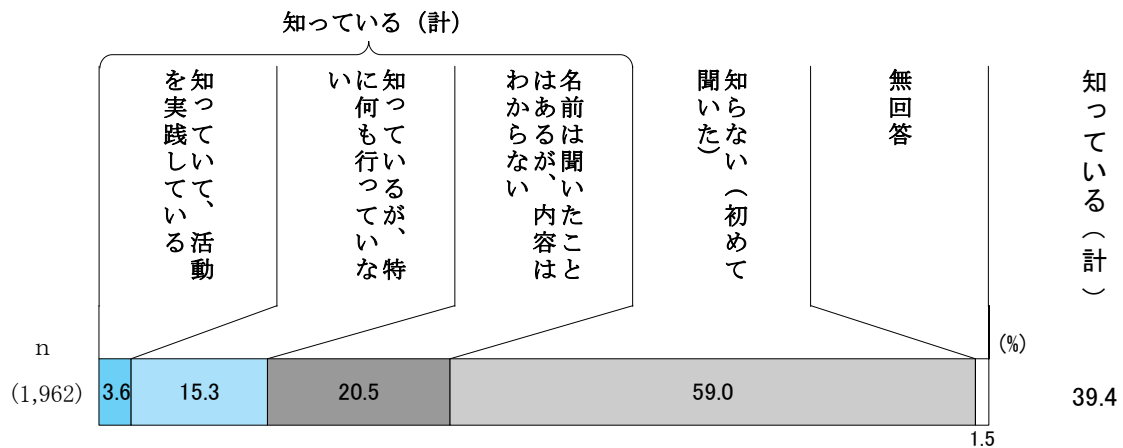


ビューティフル・ウィンドウズ運動

「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知っていて、活動を実践している」は3.6%で、これに「知っているが、特に何も行ってない」(15.3%)、「名前は聞いたことはあるが、内容はわからない」(20.5%)を合わせた【知っている】は39.4%となっています。治安状況について、【良い】と感じている方が46.0%、【悪い】と感じている方が37.2%と【良い】と感じている方が上回りました。

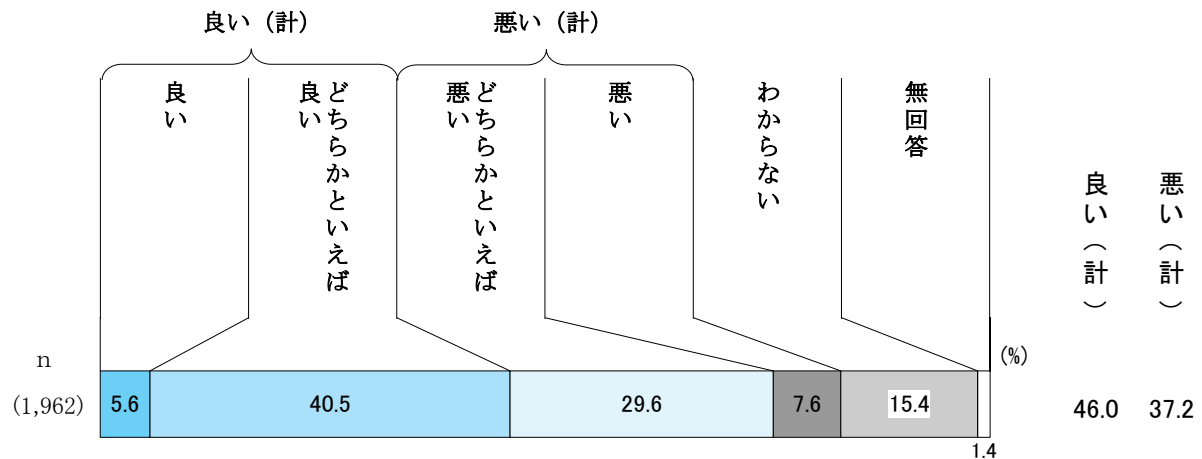
「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

- ・【知っている】は約4割で、認知度は年々上昇しています。



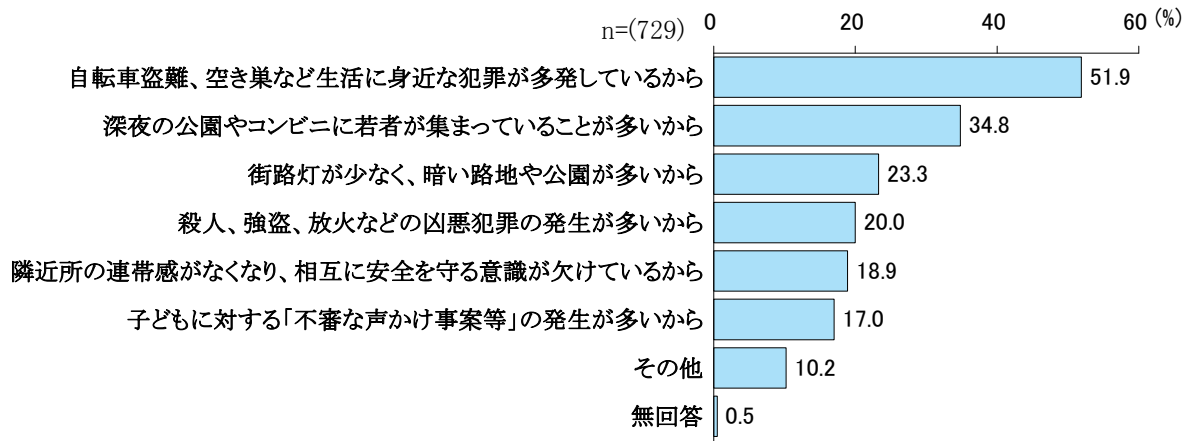
居住地域の治安状況

- ・前回調査から転じて、【良い】と感じている人の方が多く、4割台半ば。初めて【良い】が【悪い】を上回りました。



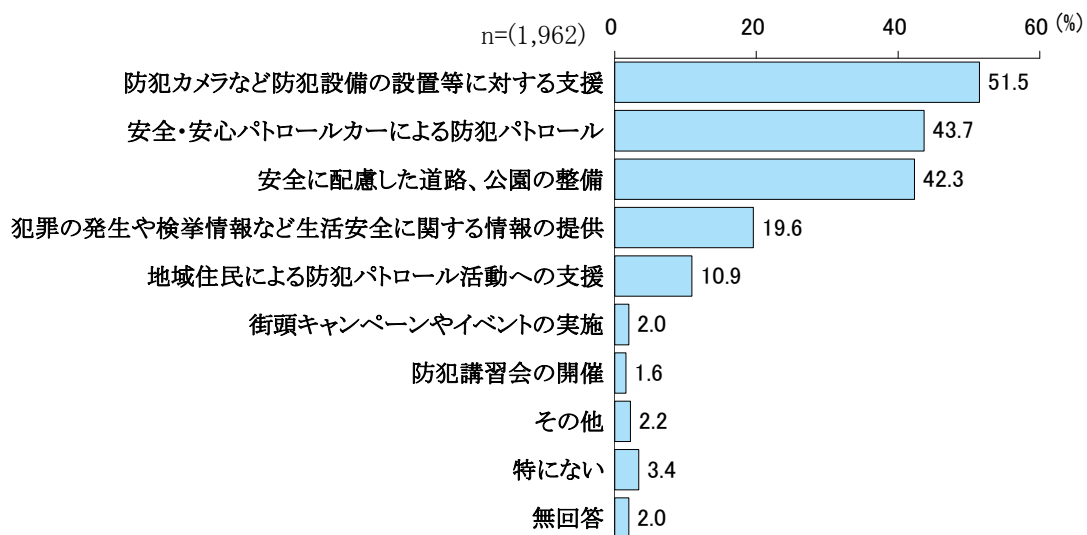
区内の治安が悪いと感じる点（〇は2つまで）

- ・“生活に身近な犯罪が多発しているから”が半数を超えました。



治安対策として区に力を入れてほしいこと（〇は2つまで）

- ・“防犯設備の設置等に対する支援”が半数を超え、“防犯パトロール”“安全に配慮した道路、公園の整備”が4割台



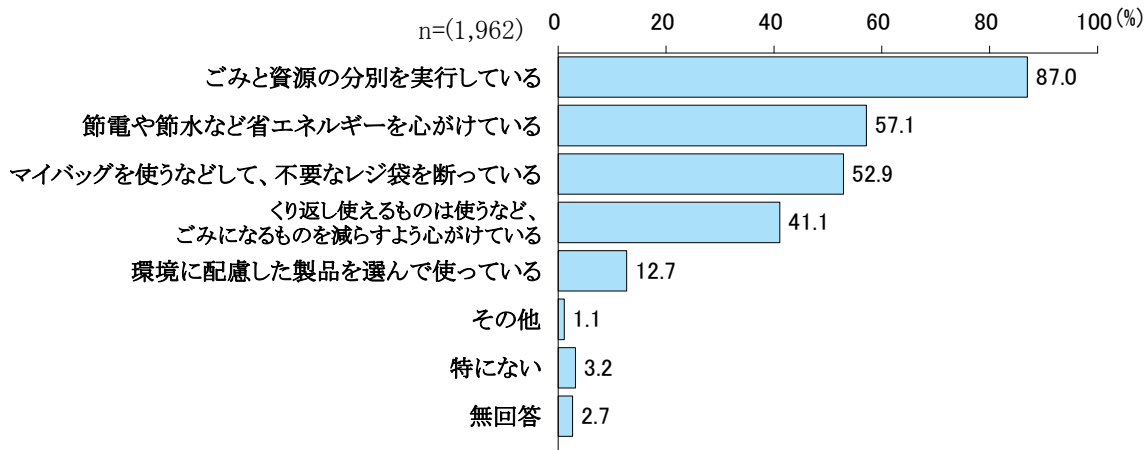
環境・地域活動

環境のために心がけていることとしては、「ごみと資源の分別を実行している」が9割近い数値を維持し最も高く、以下「節電や節水など省エネルギーを心がけている」(57.1%)、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」(52.9%)の順となっています。

また、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」は、前回から10.3ポイント減となりました。

環境のために心がけていること（複数回答）

- ・「ごみと資源の分別を実行している」が9割近い数値を維持しているが、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」は前年から減少し、省エネ意識の低下がうかがえます。

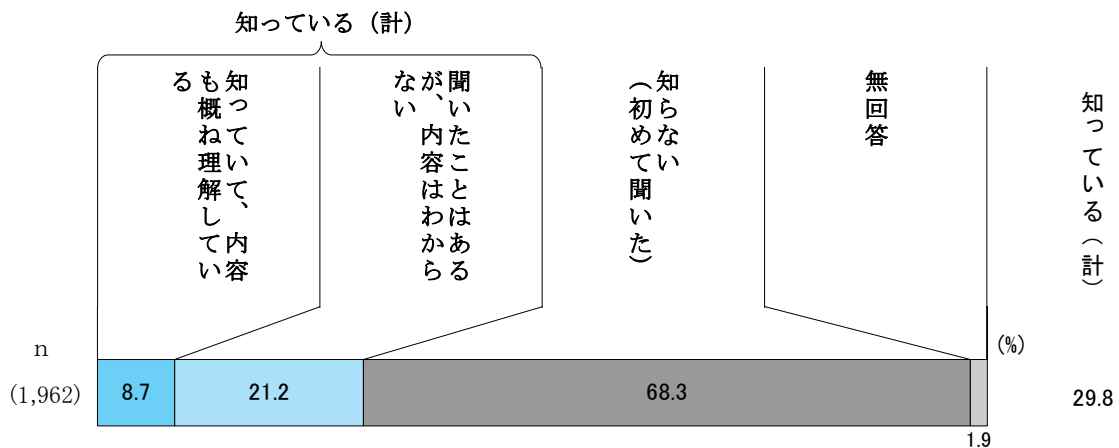


「孤立ゼロプロジェクト」など

「孤立ゼロプロジェクト」について、「知っている、内容も概ね理解している」が8.7%で、これに「聞いたことはあるが、内容はわからない」の21.2%を合わせた【知っている】は29.8%となっています。一方、「知らない（初めて聞いた）」は68.3%を占めています。

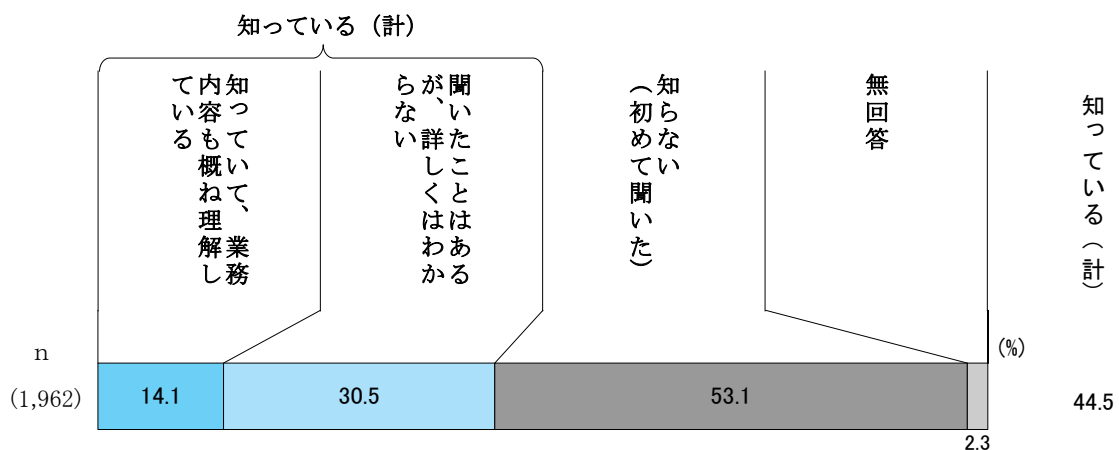
「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況

- ・【知っている】が3割、「知らない（初めて聞いた）」は7割



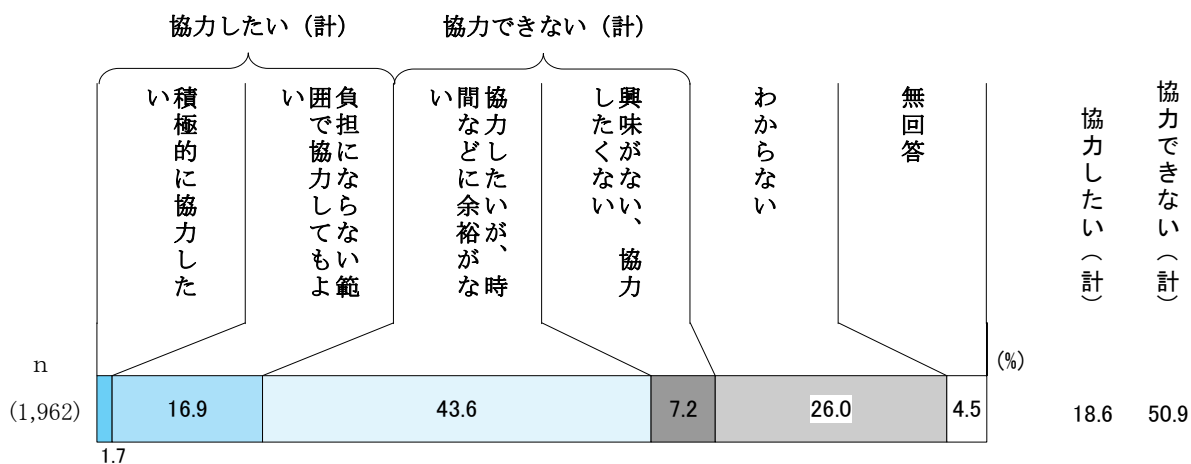
「地域包括支援センター」の認知状況

- ・【知っている】は4割台半ば



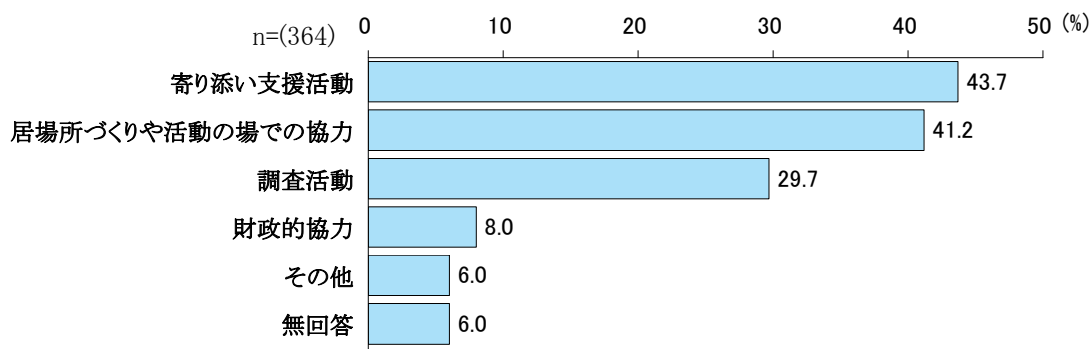
高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向

・【協力したい】の2割弱に対し、【協力できない】は5割



協力意向がある活動内容 (複数回答)

・「寄り添い支援活動」「居場所づくりや活動の場での協力」が4割を超えています。



《 各活動の定義 》

寄り添い支援活動 (主に高齢者のみの世帯を定期的に訪問して体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかいの活動のこと)

居場所づくりや活動の場での協力 (住区センターや地域での自主的な活動への協力や参加の働きかけなど)

調査活動 (主に高齢者のみの世帯を訪問し「世間話をする頻度」や「困りごとの相談相手」などを調査すること)

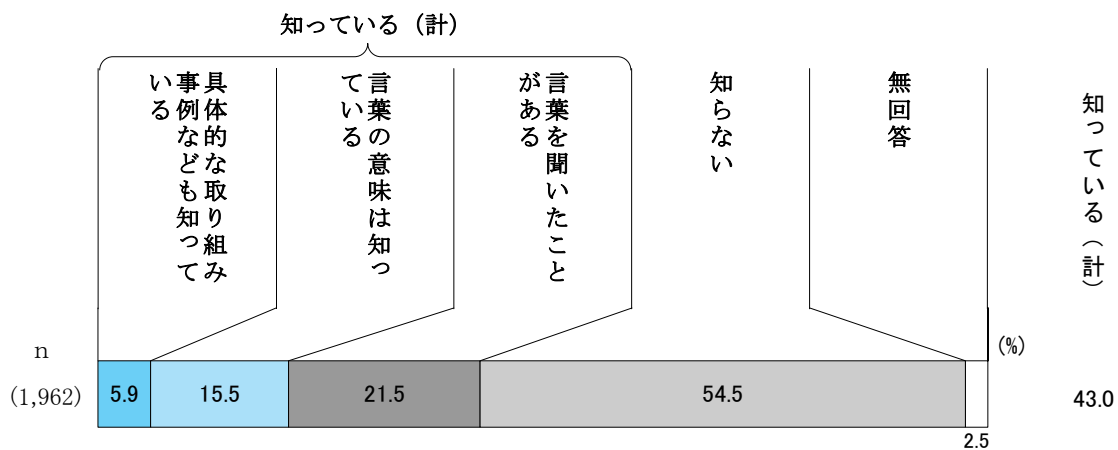
財政的協力 (活動を支援するための寄付や基金等への金銭的援助)

ユニバーサルデザイン（UD）

ユニバーサルデザインについて、「具体的な取り組み事例なども知っている」が5.9%で、これに「言葉の意味は知っている」（15.5%）、「言葉を聞いたことがある」（21.5%）を合わせた【知っている】は43.0%となっています。一方、「知らない」は54.5%と過半数を占めています。

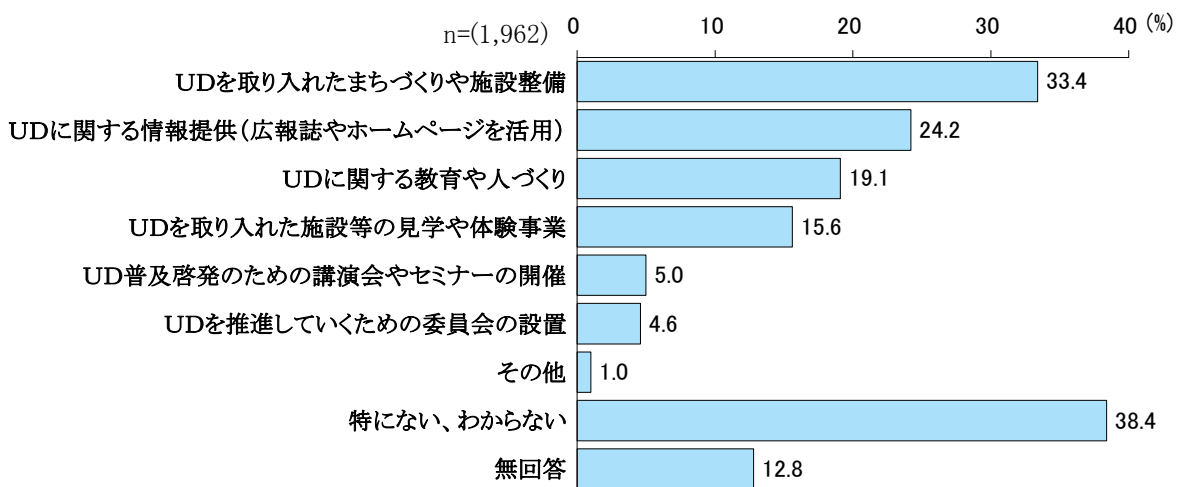
ユニバーサルデザインの認知状況

・【知っている】は4割を超えています。



ユニバーサルデザインを推進していく上で必要な取り組み（〇は3つまで）

・「UDを取り入れたまちづくりや施設整備」が3割を超えています。



区の取り組み

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

〈交通対策〉〈防災対策〉〈治安対策〉の現状評価が低く、重要度が高くなっています。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

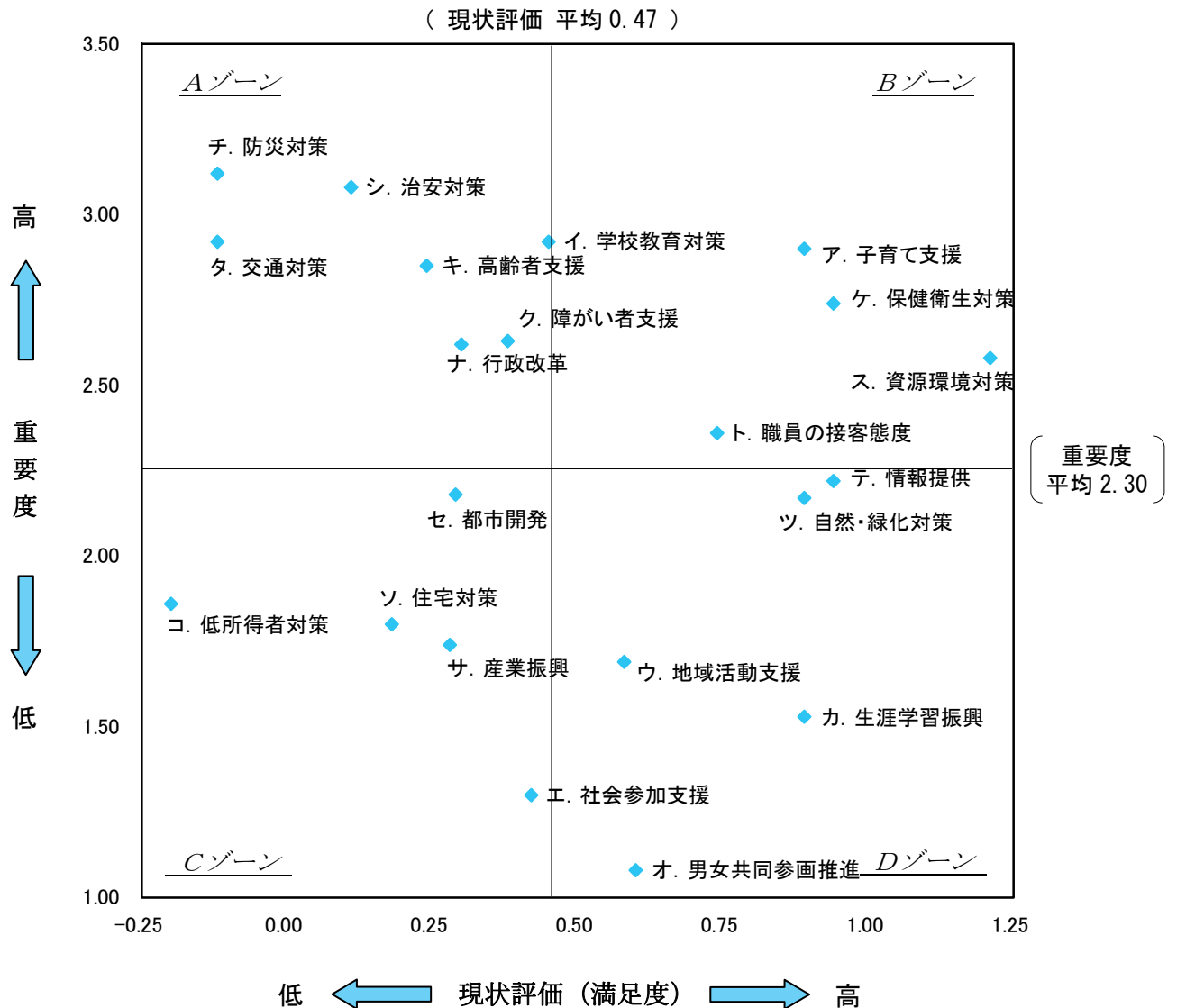
〈資源環境対策〉〈保健衛生対策〉〈子育て支援〉などは、現状評価、重要度の両面で高くなっています。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

現状評価では〈低所得者対策〉、重要度では〈社会参加支援〉が他の施策より低くなっています。

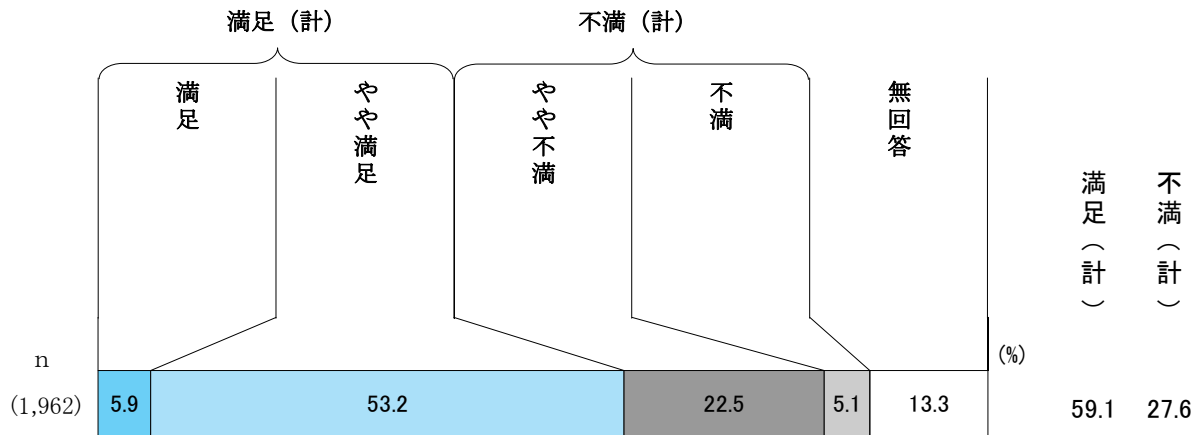
D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

〈男女共同参画推進〉〈生涯学習振興〉などがあげられています。



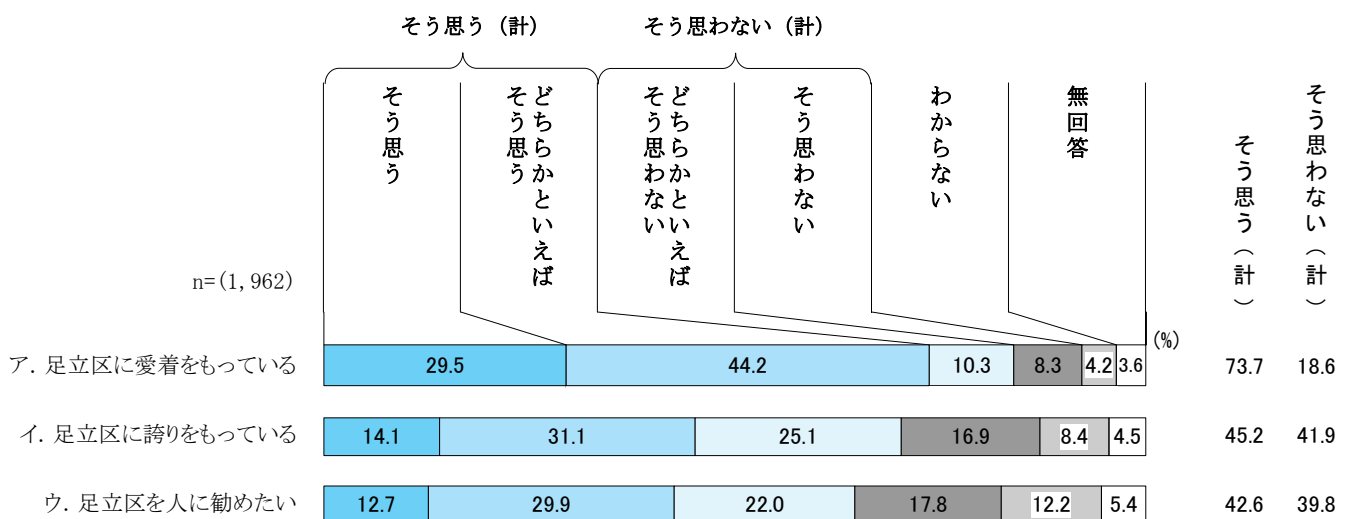
区政に対する満足度

- ・ 区政満足度は、平成25年度調査から調査方法を変更したため、数値の単純な比較はできないが、59.1%と世論調査実施上、最も高い数値となりました。



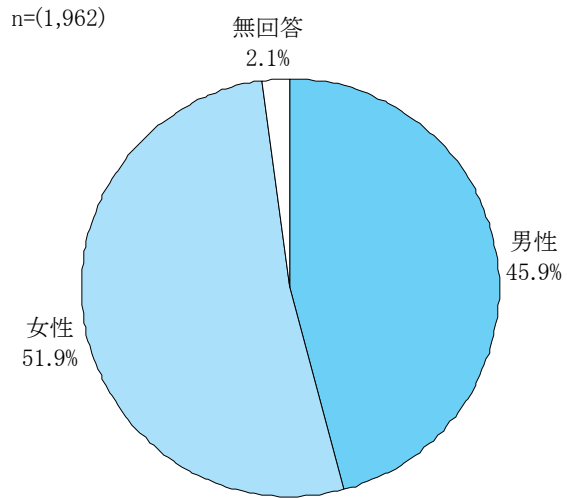
区に対する気持ち

- ・ “愛着をもっている、誇りをもっている、人に勧めたい” は、平成21年度調査開始から、いずれも最高値となりました。

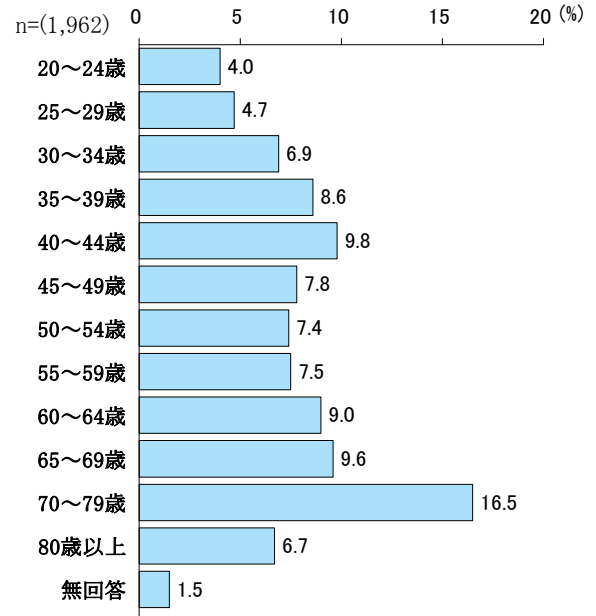


標本構成

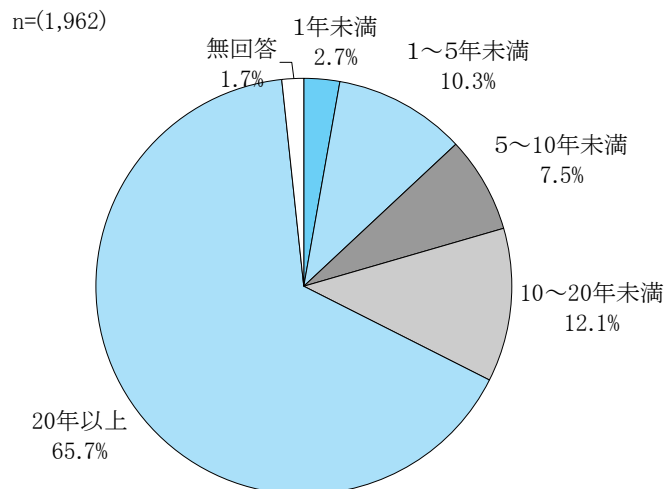
性別



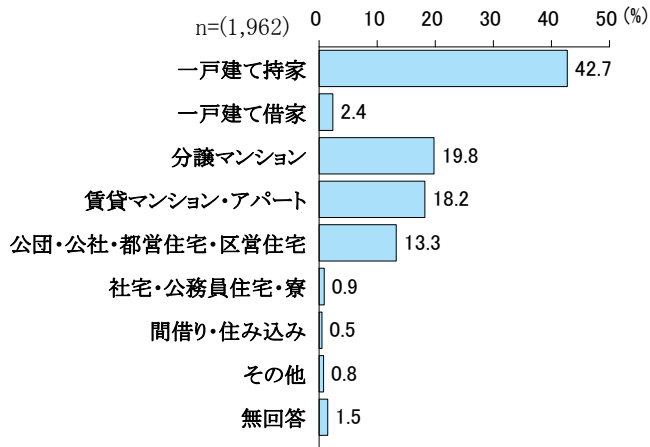
年齢



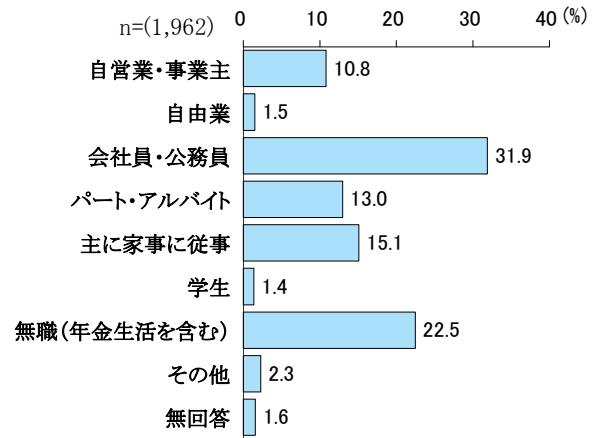
居住年数



住居形態

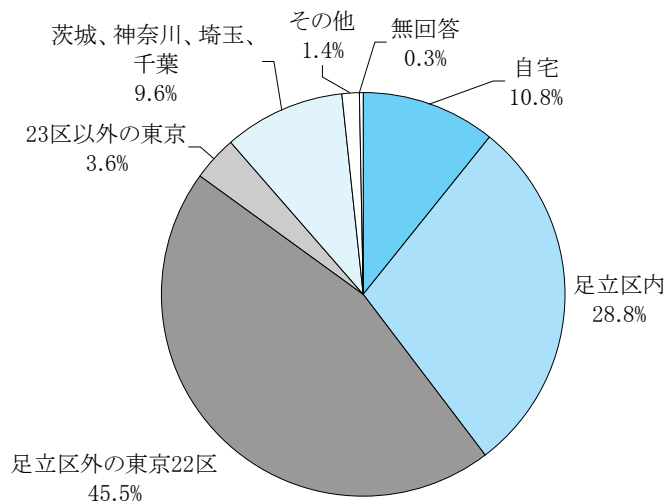


職業



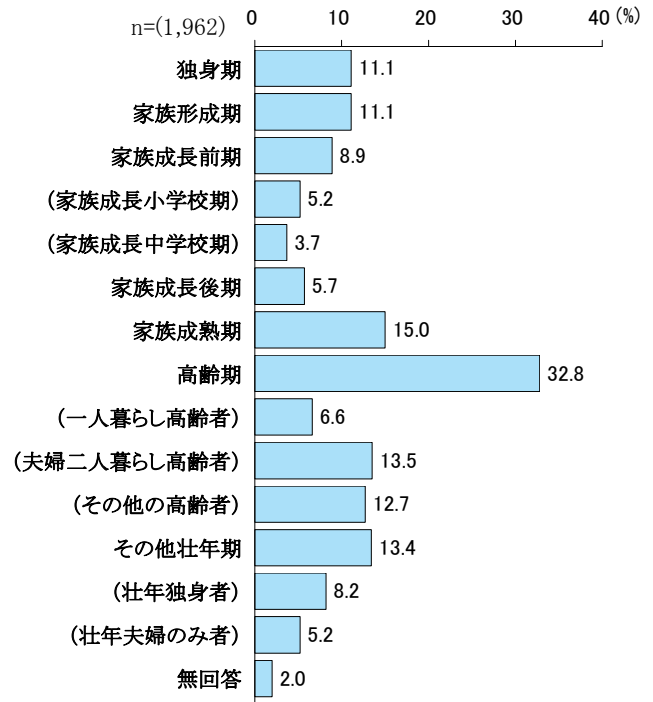
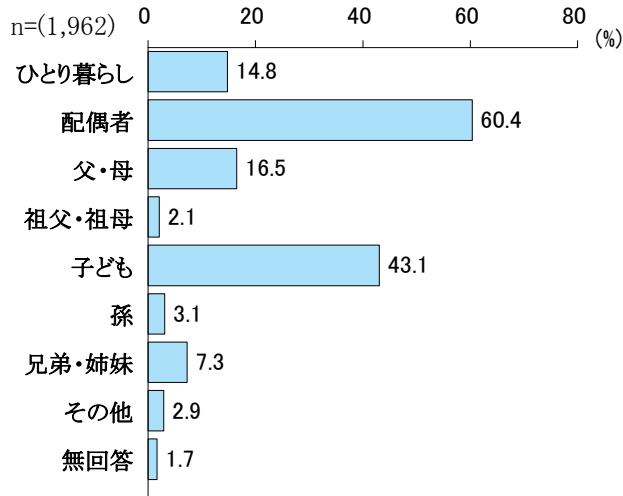
就労(就学)場所

n=(1,149)



同居家族
(複数回答)

ライフステージ



《 ライフステージの定義 》

ライフステージ別 (7カテゴリー)

- ・ 独身期 40歳未満の独身者
- ・ 家族形成期 40歳未満で子どものいない夫婦、または本人が64歳以下で一番上の子どもが小学校入学前の人
- ・ 家族成長前期 本人が64歳以下で一番上の子どもが小・中学生の人
 - (家族成長小学校期) 本人が64歳以下で一番上の子どもが小学生の人
 - (家族成長中学校期) 本人が64歳以下で一番上の子どもが中学生の人
- ・ 家族成長後期 本人が64歳以下で一番上の子どもが高校生・大学生の人
- ・ 家族成熟期 本人が64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
- ・ 高齢期 本人が65歳以上の人
 - (一人暮らし高齢者) 本人が65歳以上で一人暮らしの人
 - (夫婦二人暮らし高齢者) 本人が65歳以上で夫婦二人暮らしの人
 - (その他の高齢者) 本人が65歳以上で一人暮らし、夫婦二人暮らし以外の人
- ・ その他壮年期 本人が40歳～64歳で独身、または本人が40歳～64歳で子どものいない夫婦
 - (壮年独身者) 本人が40歳～64歳で独身
 - (壮年夫婦のみ者) 本人が40歳～64歳で子どものいない夫婦

足立区の面積 53.20km²
人口 670,385人
世帯 319,486世帯

*平成26年1月1日現在



足立区政策経営部広報室区政情報課

〒120-8510 東京都足立区中央本町1-17-1

TEL 03(3880)5111(代)

世論調査報告書の《概要版》、本編、《集計表》は足立区ホームページでもご覧いただけます。
ホームページアドレス<http://www.city.adachi.tokyo.jp> 足立区政策経営部広報室区政情報課

この概要版は再生紙を使用しています。